



【校訓】ルール 友情 根性

### [学校教育目標]

ふるさとを愛し、  
心豊かでたくましく生きる生徒の育成  
～地域を元気にする二中生、  
地域から応援される二中生～

令和5年12月25日発行

文責 校長

## その書き込み、玄関のドアに張り出せますか？

本日、生徒指導部から「SNS等の使い方について」というお便りが配付されました。インターネットやスマートフォン等は、安全に使うことができればとても役立つ便利なものです。しかし、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、誹謗中傷やいじめの温床になってしまったりするなど、残念な事実が毎日のようにテレビや新聞等で報道されています。社会のルールを守り、被害者、加害者にならないためにも、インターネットやスマートフォン等を正しく使用することを心掛けなければなりません。最近目にした事例を2つ紹介します。

インターネットというものは、実はすべて玄関の外側なのです。パソコンもスマホもLINEもメールも、ネットにつながっているモノはすべて家の外側です。

しかも、その『外側』には特徴があります。アホなことをやらせば、確実に炎上し身元がバレる、ネットはそんな場所です。

家の外側で、身元が確実にバレる場所ってどこですか？自宅玄関ですよ。これがネットの正体なのです”

「お知らせします！」と、ふれまわっているようなもの。

ネットにモノを書くということは、自宅玄関にベタベタものを貼っていくのと同じ作業なのです。だから玄関ドアに貼れるものは、ネットに貼っても全く問題なし。そしてドアに貼れないものは、ネットに書かない方がよい、のではなく……書けないのです。

これまでに起きた数多くのネットの事件、トラブル投稿で、「自宅玄関に貼れたであろうモノ」は、ほぼありません。

自宅玄関に貼れるものがネットの限界。だから、自宅ドアを基準に判断すればOK。これがネットで絶対に失敗しない方法です。



面白半分で同級生を暴行している動画をアップしたところ炎上し、2チャンネルに転載。ジャージのデザインから通っている学校が特定。在校生名簿がすぐに転載され、身元が特定。さらに、父親の会社や電話番号、学校の担任、自宅の外観写真が次々と投稿。家に住めなくなり、引っ越したところ、引っ越し先はどこと、ネットで追求が始まる。その後、炎上が収まっても、ネット上には痕跡が残り続ける。進学、就職、結婚。そうした人生の大事な場面で過去の炎上が足を引っ張ってくる。

楽しそうだから、名前が出ないから、これくらいなら……など軽はずみな気持ちで投稿したコメントや画像、動画が相手の人格を否定したり、虚偽の内容であったりなど、それが犯罪と見なされれば、大きな責任を負わなければならないことがあります。そして、自分の将来だけでなく、家族や親戚、相手の将来をもめちゃくちゃになってしまうことになります。不適切な発言や投稿、不用意なやり取りはトラブルのもとです。テレビや新聞等で報道されていることは、他人事と思わず、自分事として捉え、この事件はどうすれば起こらなかったのか、どうやったら防ぐことができたのかを考えるとともに、その原因となることは絶対にやらないという強い気持ちで生活をしてほしいものです。